

:: FGFR1 再構成を伴う骨髄系/リンパ系腫瘍 (Myeloid/lymphoid neoplasm associated with FGFR1 rearrangement)

Orpha 番号 : ORPHA168953

疾患定義

FGFR1 再構成を伴う骨髄系/リンパ系腫瘍 (myeloid/lymphoid neoplasm associated with FGFR1 rearrangement) は、染色体バンド 8p11 の FGFR1 遺伝子を巻き込んだ転座または挿入が生じた骨髄系および/またはリンパ系前駆細胞のクローン性増殖を血中および骨髄中のほか、しばしばその他の組織 (脾臓、肝臓、リンパ節、乳房など) にも認めることを特徴とする、まれな悪性疾患である。通常は、好酸球増多を伴う骨髄増殖性腫瘍、好酸球増多を伴う T リンパ芽球性リンパ腫、または頻度は低い急性骨髄性白血病として発現する。主な症状・徴候としては、好酸球増多、類白血病反応を伴う白血球増多、単球増多、疲労、発汗、体重減少、リンパ節腫脹、脾腫、肝腫大などがある。節外病巣として、扁桃、肺、乳房などがありうる。

日本語翻訳版の監訳 :

- 涌井 敬子

(難治性疾患政策研究班「染色体微細欠失重複症候群の包括的診療体制の構築」)

最終更新日 : 2017 年 8 月

翻訳日 : 2019 年 3 月

本要約の翻訳は国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED) からの資金援助の下で行われています。



本要約は情報の提供を唯一の目的として公開しているものです。専門医による医学的ケアの代わりとなるものではありません。本要約を診断や治療の根拠とすることはお控えください。



この情報は、フランスの Orphanet から提供されており、原文 (英語) がそのまま日本語に翻訳されています。このため、診断・治療・遺伝カウンセリング等に関する内容が日本の現状と合っていない場合や国内で配信されている他の媒体と一部の内容が異なる場合があります。保険適用に関する診断基準など、国内の医療制度に準拠した情報が必要な場合は、厚生労働省の補助事業により運営されている難病情報センターや小児慢性特定疾病情報センター等の専門情報センターのホームページをご参照ください。



Find more information on the disease and associated services on www.orpha.net